

カウカウ情報2025

5月市



光都農業改良普及センター

5月14日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が112万6千円、雌が90万9千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤 佐	9	1.002	1,116,133	2	0.844	937,750	11	1,083,700
丹波篠山	3	0.932	1,087,167	2	0.817	931,700	5	1,024,980
丹 波	17	0.974	1,117,406	21	0.859	894,771	38	994,371
朝 来	7	1.021	1,220,057	1	X	X	8	1,205,325
播 磨	19	0.942	1,103,474	17	0.844	838,006	36	978,114
美方郡	31	0.956	1,094,642	38	0.855	930,397	69	1,004,188
豊 岡	20	1.005	1,131,350	17	0.883	939,271	37	1,043,097
養 父	19	0.998	1,185,626	11	0.888	962,700	30	1,103,887
摂津・神戸	4	0.989	1,151,975	6	0.809	803,733	10	943,030
県北C	6	0.961	1,086,250	4	0.863	892,375	10	1,008,700
市場全体	135	0.977	1,126,090	119	0.858	909,090	254	1,024,425

※Xは個人情報保護上、数値を消すもの。

5月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸若土井	26	1.004	1,244,354	14	0.861	935,471	40	1,136,245
2	藤彦土井	8	0.987	1,122,413	5	0.862	951,060	13	1,056,508
3	忠味土井	14	0.951	1,099,450	7	0.810	947,100	21	1,048,667
	総計	135	0.977	1,126,090	119	0.858	909,090	254	1,024,425
4	丸春土井	14	0.946	1,108,879	9	0.842	877,678	23	1,018,409
5	丸池土井	8	0.912	1,020,800	2	0.774	892,650	10	995,170
6	山伸土井	18	1.009	1,154,328	28	0.880	891,000	46	994,041
7	忠正土井	10	0.984	1,123,430	11	0.823	864,800	21	987,957
8	丸彩土井	6	1.002	1,037,667	11	0.877	899,500	17	948,265
9	照和土井	5	0.884	988,240	10	0.856	850,960	15	896,720

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸若土井	B	A+	A++	A+	A++	A+
2	藤彦土井	A+	A	C	D	D	B
3	忠味土井	B	A+	A	C	A+	A+
4	丸春土井	C	B	C	B	B	A+
5	丸池土井	C	A++	D	B	A+	A++
6	山伸土井	A	A++ → A+	D	A+	A+	A
7	忠正土井	C	B	A+	C	B	B
8	丸彩土井	B	B	A++	C	A	C
9	照和土井	A++	A	B → C	B	B	B



バックナンバー
はここから

北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和6年8月現在)

梅雨はコクシジウムに要注意!!

■ はじめに

5 月に入り、暖かく過ごしやすい気温になってきました。これから雨の日が増え、ジメジメした梅雨がやってきます。湿気が多いと、病原菌やウイルスが増殖するため、人も牛も病気に注意しなければなりません。今回は、梅雨や夏場に子牛の疾病でよく聞くコクシジウム症についてまとめていきます。

■ コクシジウムとは何か

そもそもコクシジウム症とは何なのでしょう。コクシジウム症とは、コクシジウムという原虫が腸壁に寄生して起こる感染症です。主に子牛が感染し、下痢や血便、脱水症状、食欲不振などを引き起こします。

コクシジウムの感染経路はまず口からオーシスト（膜に包まれた原虫）が体内に入り、消化管内に到達すると膜が破れ、内部の原虫が腸粘膜内に侵入します。この原虫が細胞内で増殖し、再びオーシストを形成し糞便とともに体外へ排出されます（図 1）。コクシジウム症を防ぐためには、この感染サイクルから子牛を守ることが重要になります。

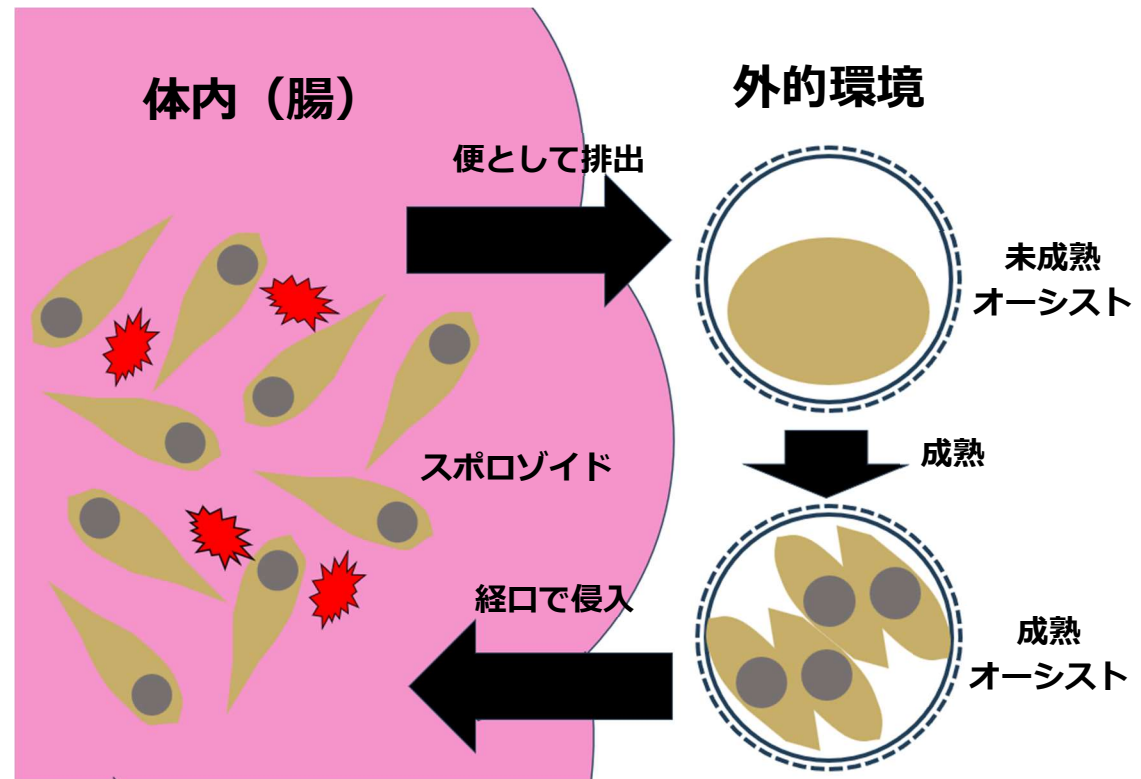


図 コクシジウムの感染サイクル

■ なぜコクシジウムが流行するのか

コクシジウム症は例年 6～7 月の梅雨の時期から多く確認されます。その原因は高温多湿にあるためです。体外に排出された未成熟オーシストは、この状態で体内に入っても感染力を持ちません。未成熟オーシストは梅雨の時期、暖かくなると**温度と水分（湿度）により成熟し、感染性を獲得します**。感染性を持った成熟オーシストは、体内に入るとコクシジウム症を引き起こします。そのため、梅雨の時期はコクシジウム症が多く確認されます。

■ コクシジウムに感染させないために

上記のとおり、子牛をコクシジウム症にさせないためには、コクシジウムの感染サイクルから子牛を守ることが重要です。「コクシジウム自体を駆虫すればいいんじゃないの?」と思われる方もいるかもしれませんが、しかし、このオーシストの膜はとても強固で、通常環境では 1～2 年生存し、薬剤はほとんど効きません。そのため、**子牛の口からオーシストが入らないように、予防することが重要**というわけです。

まず、基本的な感染予防として、日常の敷料の交換が重要です。コクシジウムなどの原虫は日陰でジメジメ湿った場所を好み生息します。これからの季節、牛床が湿りやすくなるため、敷料を交換し、乾燥した清潔な牛床にしましょう。もし、コクシジウム症の症状を呈する子牛を確認したら、対象牛を隔離するとともに、その糞便を処理して、コクシジウムの拡散を防ぎましょう。

コクシジウムにほとんどの薬は効きませんが、オルソ剤は有効です。牛舎外で使用した長靴や感染牛の牛房消毒にはオルソ剤を用いましょう。**効果を高めるために、牛房の消毒は順序良く行うことが重要です。下記の図の順番で洗浄消毒を行いましょう（図 2）。**

コクシジウムは目に見えず、どこに付着しているのかわからないため、一度入って来てしまったらすべて死滅させることはほぼ不可能です。しかし、コクシジウム症は摂取したオーシストの数で症状の発現、強弱が決まるため、清潔な環境を作り、オーシストを減らすことは非常に重要なことなのです。



図 2 牛舎洗浄・消毒作業の順序（但馬家畜市場情報バックナンバー2016 年 1 月号参照）



■ まとめ

一度コクシジウム症に罹ってしまうと、その後の発育にも悪影響を及ぼします。ですが、衛生環境を清潔に整えることで防ぐことができる疾病でもあります。**子牛は大切な商品ですので、疾病にならないよう管理し、大きく育てましょう。**